



# Infor Configure Price Quote Sales Portal

## Administration ガイド

リリース 8.1

## 重要事項

本書に含まれる資料(あらゆる補足情報を含む)は、Inforの機密及び専有情報に相当し、かつそれを含むものです。

添付を使用するにあたり、使用者は、当該資料(当該資料のあらゆる修正、翻訳または翻案を含む)、すべての著作権、企業秘密、及びそれに関係するすべてのその他権利、権原及び利益はInforが独占所有するものであり、使用者には、別の契約(この別契約の契約条項によって、貴社の当該資料及びすべての関連する補足情報の使用が規定されます)に基づいてInforより貴社に使用許諾されたソフトウェアに関連し、またその使用を促進することのみを目的(以下、「目的」という)として、当該資料を使用するための非独占的権利以外、使用者の閲読に基づく権利、権原及び利益(すべての修正、翻訳または翻案を含む)は付与されるものではないことを認識し、それに同意するものとします。

更に、同封の資料を使用するにあたり、使用者は、使用者が当該資料を極秘扱いで保管しなければならないこと、そして使用者の当該資料の使用は上述の「目的」に限定されることを認識し、それに同意するものとします。Inforは本書に含まれる資料を正確で完全なものとするべく注意を払っていますが、Inforは本書に含まれる情報が完全で、誤植やその他の誤りがなく、使用者の特定要件に合致するものであることを保証しません。したがって、Inforは、本書(あらゆる補足情報を含む)の誤りまたは不備により、またはそれに関連して生じたあらゆる個人または団体に対する、あらゆる間接的または直接的損失または損害について、その誤りまたは不備が過失、事故またはその他の理由によるものであるかどうかにかかわらず、一切の責任を負わず、かつそれを放棄するものとします。

使用者の本資料の使用は、米国輸出管理法及びその他に限定しない輸出入の適用法に準拠するものとし、使用者は、本資料及びあらゆる関係資料または補足情報を当該法律に違反して、直接的または間接的に輸出または再輸出してはならず、またこれらの資料を当該法律により禁止されるいかなる目的にも使用してはなりません。

## 商標確認

ここに示す文字標章及び図形標章は、Infor及び/またはその関連会社ならびに子会社の商標または登録商標、あるいはその両方です。無断複製・転載を禁ず。参照されるすべての他の社名、製品名、商標名またはサービス名は各所有者の登録商標または商標です。

## 発行情報

リリース: Infor Configure Price Quote Sales Portal 8.1

発行日: 2017年3月7日

ドキュメントコード: cpqsp\_8.1\_spag\_\_ja-jp

# 目次

このガイドについて.....	5
Infor へのお問い合わせ.....	5
<b>第 1 章 : Sales Portal Admin System 入門.....</b>	<b>7</b>
Admin System ワークフローについて.....	7
Admin System ワークフローの開始.....	7
<b>第 2 章 : Sales Portal のアクティブ化.....</b>	<b>9</b>
Sales Portal Admin System のアクティブ化.....	9
Sales Portal クライアントアプリケーションのアクティブ化.....	9
製造業者ユーザーおよび代理人ユーザーの作成.....	10
<b>第 3 章 : デイラーおよび担当の取り扱い.....</b>	<b>11</b>
デイラーおよび担当について.....	11
デイラーの作成.....	11
担当の作成.....	12
<b>第 4 章 : 製品メンテナンスの取り扱い.....</b>	<b>15</b>
製品メンテナンスについて.....	15
製造業者の追加.....	15
価格表の追加.....	16
製品の追加.....	16
製品定価の追加.....	17
労務費税の追加.....	18
サポートされる添付ファイルタイプの追加.....	18
校正レポートの有効化.....	19
カテゴリの追加.....	19
イメージをカテゴリに追加.....	20
イメージを製品に追加.....	20
視覚的製品カタログの有効化.....	20
拡張フィルタの有効化.....	22
サブラインの有効化.....	23
多通貨の有効化.....	23
<b>第 5 章 : システムリソースの取り扱い.....</b>	<b>25</b>
システムリソースについて.....	25
国の追加.....	25

通貨の追加.....	26
リソースの追加.....	27
リソース値の編集.....	27
<b>第 6 章：優先事項とアプリケーションの設定の取り扱い.....</b>	<b>29</b>
優先事項の変更.....	29
読み取り専用モードでの見積または注文の Document Automation の有効化.....	33
カスタムアクションの管理.....	33
カスタムアクションからルールセットの実行.....	34
GetProductsEvent カスタムアクション.....	35
GetProductsEvent カスタムアクションの作成.....	36
ION 用コンフィギュレーション.....	36
アプリケーションの設定について.....	37
アプリケーションの設定の追加.....	39
レポートの追加.....	40
<b>第 7 章：システムメッセージの取り扱い.....</b>	<b>41</b>
メッセージの作成.....	41
メッセージの表示.....	42

# このガイドについて

このガイドは、Infor CPQ Sales Portal Admin System を理解し、使用するための情報を提供します。

## 対象者

このガイドの対象者は、組織の Sales Portal 環境の管理を担当するアドミニストレーターです。

## 構成

以下の表で、このガイドの各セクションの内容を説明します。

セクション	説明
Sales Portal Admin System 入門	Sales Portal Admin System に関連する条件およびコンセプトへのイントロダクション
Sales Portal のアクティブ化	Sales Portal Admin System とクライアントアプリケーションのアクティブ化
ディーラーおよび担当の取り扱い	ディーラーおよび担当の作成とメンテナンス
製品メンテナンスの取り扱い	製品および価格表の作成とメンテナンス
システムリソースの取り扱い	言語翻訳のシステムリソースの作成とメンテナンス
優先事項とアプリケーションの設定の取り扱い	アプリケーションの設定と優先事項
システムメッセージの取り扱い	システムメッセージ

## Infor へのお問い合わせ

Infor 製品に関するご質問は、Infor Xtreme サポートポータル (<http://www.infor.com/inforxtreme>) をご利用ください。

製品リリース後にドキュメントを更新した場合は、Infor Xtreme に新しいバージョンを掲載します。この Web サイトでドキュメントの改訂を定期的にご確認ください。

Infor ドキュメントについてのご意見は、[documentation@infor.com](mailto:documentation@infor.com) にお寄せください。



Sales Portal Admin System は、Sales Portal 管理セットアップとメンテナンスに使用されるウェブベースのアプリケーションです。Admin System を通じて、管理者は、Sales Portal 優先事項とアプリケーションの設定をカスタマイズできます。また、システムのライセンスや、ディーラー、担当、代理人ユーザーといった個人アカウントにアクセス・管理することもできます。

## Admin System ワークフローについて

以下は、Sales Portal Admin System での基本的なワークフローです。

- 1 Admin System をアクティブ化します。
- 2 オンラインアクティブ化登録を完了します。
- 3 Sales Portal クライアントをアクティブ化します。
- 4 ディーラーを作成します。
- 5 ディーラーの担当を作成します。
- 6 システムメッセージを作成します。
- 7 優先事項の設定とアプリケーションの設定を設定します。

## Admin System ワークフローの開始

- 1 [スタート] > [CPQ] > [CPQ Sales Portal 8.1] > [CPQ Sales Portal Admin 8.1]を選択します。
- 2 新しいセッションの場合は、[Windows セキュリティ] ダイアログボックスでログイン情報を入力するよう要求されます。Windows 認証情報を指定します。
- 3 [OK] をクリックします。





Sales Portal を初めてアクティブ化する際は、ユーザーは Admin System と Sales Portal クライアントアプリケーションをアクティブ化する必要があります。Admin System をアクティブ化した後に、Sales Portal クライアントアプリケーションをアクティブ化する必要があります。次に、登録設定を使用して製造業者と代理人ユーザーの情報を指定します。また、システムのライセンス使用状況が確認できます。

### Sales Portal Admin System のアクティブ化

- 1 [スタート] > [CPQ] > [CPQ Sales Portal 8.1] > [CPQ Sales Portal Admin 8.1]を選択します。
- 2 アプリケーションにログインします。Sales Portal 管理は、Windows 認証を使用し、サーバー管理者認証情報を持つユーザーのユーザー名とパスワードを必要とします。
- 3 ライセンスキーを指定します。
- 4 [アクティブ化] をクリックします。

### Sales Portal クライアントアプリケーションのアクティブ化

- 1 [登録] > [オンラインアプリケーション登録]を選択します。
- 2 [Ctrl-C] で承認コードをコピーします。承認コードは、Sales Portal クライアントアプリケーションのアクティブ化に使用されます。
- 3 [スタート] > [CPQ] > [CPQ Sales Portal 8.1] > [CPQ Sales Portal 8.1]を選択します。
- 4 [Ctrl-V] で承認コードをテキストボックスにペーストします。
- 5 [アクティブ化] をクリックします。

## 製造業者ユーザーおよび代理人ユーザーの作成

1 [登録] > [登録の設定]を選択します。

2 以下の情報を指定します。

### [会社名]

製造業者の名前を指定します。

### [ユーザー ID]

ディーラーの代わりに製造業者が Sales Portal へのアクセスに使用するユーザー ID を指定します。保存後、ユーザー ID は読み取り専用になります。ユーザー ID は、Sales Portal クライアントアプリケーションのマイプロフィール ダイアログボックスで編集できます。

### [プロフィール名]

コンフィギュレーションプロフィールまたはデフォルトのプロフィールを指定します。特定のユーザーグループに対し、言語またはビューといった、特定の優先事項の設定にコンフィギュレーションプロフィールをセットアップできます。

### [モバイルプロフィール名]

モバイルデバイスのプロフィール名を指定します。Sales Portal は、自動的にモバイルブラウザを認識し、モバイルコンフィギュレーションプロフィールをロードします。このテキストボックスに有効なプロフィールを入力する必要があります。モバイルコンフィギュレーションプロフィールを設定していない場合は、デフォルトのコンフィギュレーションプロフィール名を使用します。

### [管理者パスワード/パスワードの確認]

代理人ユーザーアカウントのパスワードを指定します。保存した後、パスワードは読み取り専用になります。パスワードは、Sales Portal クライアントアプリケーションの [マイプロフィール] ダイアログボックスで編集できます。

### [割当済ライセンス]

(製造業者) 代理人ユーザーの作成に割り当てられたライセンス数を指定します。追加の代理人ユーザーを作成するには、製造業者として Sales Portal にログインし、[マイ会社プロフィール] セクションで担当を追加します。

### [言語]

ユーザーに表示する言語を指定します。リストには、Sales Portal データベースで利用可能なすべての言語が表示されます。Sales Portal データベースのロケール表で追加の言語を有効化できます。

3 以下の情報を確認します。

### [使用済ライセンス]

システムで作成されている代理人ユーザーの現在の数です。

### [使用可能ユーザー合計]

会社が購入したユーザーライセンス数の合計です。

### [残りのユーザー合計]

システムで割り当てられていないユーザーライセンスの数です。作成した各担当はユーザーとして計算され、ライセンスが割り当てられます。

ディーラーおよび担当を作成し管理するには、以下のプロセスを実行する必要があります。

## ディーラーおよび担当について

ディーラーは、Sales Portalにおいて、顧客のために見積および注文を作成する役割を担います。ディーラーは Sales Portal のユーザー機能のみにアクセスできます。Sales Portal のディーラーセクションでは、製造業者はディーラーと担当を作成でき、ディーラーの場所と発注データの作成と管理ができます。

[場所] タブを使用して、ディーラーに関連付けられた住所リストが管理できます。

[発注デフォルト] タブを使用して、製造業者からディーラーへの価格条件、取引条件、および出荷条件を管理できます。これらの値は、ディーラーの見積および注文に対しデフォルトになっています。価格表が複数ある場合、ディーラーに正確な価格表を割り当てていることを確認してください。ディーラーは割り当てられた価格表から価格を確認するため、正確な価格表を割り当てることが重要です。

[担当] タブを使用して、ディーラーの担当リストが管理できます。ライセンス数に応じて担当を追加できます。

新規ディーラーを登録する際、最初に作成する担当がディーラーの管理担当となります。管理担当は、ディーラーの他の担当を作成することができます。担当の状況が [非アクティブ] に設定されると、そのライセンスが利用可能となり、他の担当に使用できます。

## ディーラーの作成

ディーラーを作成する前に、Admin System を登録し、オンラインアプリケーション登録を完了します。

- 1 [ディーラー] > [新規]を選択します。
- 2 ディーラーと連絡先の情報を指定します。
- 3 以下の一般情報を指定します。

[ディーラー ERP ID]

ディーラーエンティティの ERP システムのレコード ID を指定します。ION でマスターデータを処理する場合、CustomerPartyMaster マスター BOD にある顧客 ID を参照します。

[請求先 ERPID]

請求先住所エンティティの ERP システムのレコード ID を指定します。

[場所セキュリティの有効化]

このチェックボックスを選択すると、ディーラーの場所セキュリティが有効化されます。場所セキュリティにより、管理者は、担当を特定のディーラーの場所に関連付けることができます。ディーラーに関連付けられた担当または場所がない場合のみ、このオプションを変更できます。

[直販モデル]

このチェックボックスを選択すると、ディーラーの直販が有効化されます。ディーラーに関連付けられた担当または場所がない場合のみ、このオプションを変更できます。

- 4 また、[場所] タブを選択して、ディーラーの追加の場所を指定することもできます。
- 5 [発注デフォルト] タブを使用して価格表を指定します。製品リストには、製品および価格が含まれ、ディーラーが見積を作成すると表示されます。
- 6 ディーラーの発注時に使用する条件を指定します。価格表が複数ある場合、ディーラーに正確な価格表を割り当てていることを確認してください。

## 担当の作成

- 1 [ディーラー] > [担当] タブを選択します。
- 2 [作成] をクリックします。
- 3 担当情報を指定します。
- 4 以下のアプリケーション設定情報を指定します。

[プロフィール名]

プロフィール名を指定します。コンフィギュレーションプロフィールは、Design Studio 経由で言語とビューを特定のユーザーグループに関連付けます。コンフィギュレーションプロフィールに関連付けられていない場合は、デフォルトのプロフィールを使用します。

[モバイルプロフィール名]

モバイルプロフィール名を指定します。Sales Portal は、自動的にモバイルブラウザを認識し、モバイルコンフィギュレーションプロフィールをロードします。このテキストボックスに有効なプロフィールを入力する必要があります。モバイルコンフィギュレーションプロフィールを設定していない場合は、デフォルトのコンフィギュレーションプロフィール名を使用します。

[言語]

言語を指定します。このフィールドは、Sales Portal でユーザーに表示される言語を示します。リストには、Sales Portal データベースで利用可能なすべての言語が表示されます。システムリソースの [ロケール] セクションから追加の言語を有効化します。

[注文権限]

このオプションは、担当の注文機能を表示します。以下のオプションのいずれかを指定します。

なし: 注文権限はありません。注文権限はナビゲーションバーに表示されません。

見積を注文に変換可:見積から注文を作成でき、注文検索グリッドから印刷できます。新規の注文を作成したり、既にある注文を編集したりすることはできません。

直接注文可:完全な注文権限があります。発注、注文の新規作成、および既存の注文の編集ができます。

[デフォルトランディングページ]

デフォルトランディングページを指定します。Sales Portal へのログイン後に表示するランディングページを特定できます。

[ディーラーの管理]

このチェックボックスを選択すると、ディーラー管理者となります。管理者は、Sales Portal の [マイ会社プロフィール] セクションで担当の設定を変更できます。また、管理者はディーラーの場所を管理でき、顧客の [すべての場所で有効化] 設定を変更することもできます。

**5** 以下のオンラインライセンス情報を指定します。

[ユーザー ID/パスワード]

Sales Portal クライアントアプリケーションへのログインに使用する、担当固有のユーザー名とパスワードを指定します。

[Windows ユーザー ID]

担当の Windows ユーザー ID を指定します。

[IS 管理者]

ディーラーの担当を指定します。最初に作成するディーラーの担当が管理担当となります。

[承認済ライセンス]

ディーラーに提供する、会社の合計ライセンス数内のライセンス数を指定します。これは、ディーラーに作成する担当の数となります。

**6** システムで担当を使用するには、[アクティブ] チェックボックスにチェックマークを付けます。アクティブ担当はライセンスを使用します。



製品メンテナンスは、Sales Portal で製品と製品価格設定の管理に使用されます。

## 製品メンテナンスについて

製品メンテナンスを使用してシステムの製造業者の製品を管理できます。製品メンテナンスの設定では、Sales Portal システム内で見積および注文の作成時に表示する製品と価格を指定できます。先に進む前に以下の用語の定義をご確認ください。

### [製造業者]

製造業者には、製品と製品価格設定の情報の完全なリストが入っています。一度にアクティブにできる製造業者は一つだけなので、多くの実装環境で、製造業者はただ一つです。

### [製品]

各製品は一つの製造業者と一つの価格表に関連付けられます。一つの製品を複数の価格表および製造業者に関連付けることも可能です。製品は無効にできますが、削除はできません。製品定価を使用して既存の製品を価格表に追加または更新したり、価格情報を調整したりできます。

### [価格表]

価格表には、製品グループと価格が含まれます。ディーラーの作成時に、そのディーラーの価格表を選択します。ディーラーの担当が Sales Portal にログインし、見積を作成すると、選択した製品リストの製品と価格が表示されます。

### [製品定価]

製品定価を使用して製品価格設定情報を管理できます。

製造業者、製品、価格表、製品定価を使用した例として、窓とドアの製造業者が複数の窓、ドア製品を持っているとします。ドア製品と価格を含む価格表、そして窓の製品と価格を含む別の価格表を作成します。ドアの価格表はドアのディーラーに、窓の価格表は窓のディーラーに割り当てることができます。これらのディーラーが Sales Portal にログインし、見積を作成すると、品目リストでは、選択した製品リストの製品と価格が表示されます。

## 製造業者の追加

1 [製品メンテナンス] > [製造業者] > [作成]を選択します。

2 以下の情報を指定します。

[名前]

名前を指定します。

[キャプション]

キャプションを指定します。

[説明]

説明を指定します。

[名前のスペース]

名前のスペースを指定します。

[アクティブ製造業者として設定]

製造業者をアクティブまたは非アクティブに設定します。

## 価格表の追加

デフォルトでは、作成した各製品は基本価格表に含まれます。このリストは削除できません。

1 [製品メンテナンス] > [価格表] > [作成]を選択します。

2 以下の情報を指定します。

[名前]

名前を指定します。

[説明]

説明を指定します。

[タイプ]

タイプを指定します。

## 製品の追加

1 [製品メンテナンス] > [製品] > [作成]を選択します。

2 以下の情報を指定します。

[パーツ番号]

製品の正式パーツ番号を指定します。

[名前]

Sales Portal で使用される製品の代替の名前を指定します。

[単位]

測定単位を指定します。



**[ソート順序]**

ユーザーが表示製品カタログの閲覧時に表示する製品の順序を指定します。例えば、10 の製品がそれぞれ、1 ~ 10 の範囲で番号が割り当てられている場合、番号 1 の製品が最初に、番号 10 の製品が最後に表示されます。ソート順序が同じ場合、翻訳された製品名に基づいて品目が表示されます。

**[イメージリンク]**

CPQ インスタンスの `ConfiguratorContent/Images` フォルダーにあるイメージのファイル名を指定します。

**[製造業者]**

製品の製造業者を指定します。

**[発効日]**

製品がシステムで利用可能となる日付を指定します。

**[有効化]**

クライアントアプリケーションで製品を表示するチェックボックスを指定します。

**[キャプション]**

製品の作成されたリソースを指定します。Sales Portal で表示される製品名はリソースの値とユーザーの言語設定に基づきます。

**[コンフィギュレーション可能]**

製品がコンフィギュレーション可能なものである場合はこのチェックボックスにチェックマークを付けます。

**[数量変更時のコンフィギュレーション]**

数量が変更された際に品目の製品がコンフィギュレーションを再度行う場合はこのチェックボックスにチェックマークを付けます。

**[名前のスペース]**

品目のルールセットを含む名前のスペースを指定します。

**[ルールセット]**

品目が見積または注文に追加された際に構成するルールセットを指定します。

**[拘束モデル]**

必要に応じて、品目に関連付けられる拘束モデルを指定します。拘束モデルを使用して、見積ページで品目のコンフィギュレーションオプションを設定できます。

**[拘束リソース]**

拘束リソースを指定します。

## 製品定価の追加

- 1 [製品メンテナンス] > [製品定価] > [作成]を選択します。
- 2 以下の情報を指定します。

**[価格表]**

価格表を指定します。

[パーツ番号]

パーツ番号を指定します。

[発効日/失効日]

発効日/失効日を指定します。

[価格]

価格を指定します。

[原価]

原価を指定します。

## 労務費税の追加

労務費税によって、ユーザーは労務品目に対する税金から標準税額を区分し、異なる税率を設定することができます。

- 1 Sales Portal Administrationで [製品メンテナンス] > [製品] に進みます。
- 2 [パーツ番号] 名をクリックして必要なアセンブリ品目を開きます。
- 3 [製品] セクションで、[労務品目] チェックボックスにチェックマークを付けます。

## サポートされる添付ファイルタイプの追加

- このフィールドの有効な値は、0 ~ n 個のファイル拡張子を縦線 | で区切って並べたものです。
  - 例
    - png:PNG イメージファイルのみを許可
    - txt:プレーンテキストファイルのみを許可
    - png|txt:PNG イメージファイルとプレーンテキストファイルのみを許可
- 拡張子にはピリオドを追加する必要はありません。
  - "png" または ".png"
- 拡張子が設定されていない場合、アップロードできるファイルタイプはありません。
- 区切り記号を使用して、拡張子のないファイルを許可することもできます。
  - 例
    - |:拡張子のないファイルのみを許可
    - |png:拡張子のないファイルと PNG イメージファイルのみを許可
  - 末端の区切り記号は無視されます。
    - png|:PNG イメージファイルのみを許可
    - |png|:拡張子のないファイルと PNG イメージファイルのみを許可

- 2つの区切り記号にある空の文字列は無視されます。
    - png||txt:PNG イメージファイルとプレーンテキストファイルのみを許可
    - ||:拡張子のないファイルのみを許可
    - |png||:拡張子のないファイルと PNG イメージファイルのみを許可
    - png||:PNG イメージファイルのみを許可
  - 管理サイトから他の優先事項を変更した場合、ユーザーがログアウトし、再び戻る、または IIS がリセットされるまで変更は適用されません。
  - ウェブブラウザは、検証の代わりにヒントとして、ファイル選択ダイアログ タイプフィルタを提供するため、ユーザーはフィルタを [すべてのファイル] に変更して、無効なファイルを選択できてしまいます。この場合、ユーザーが添付ファイルを保存しようとする、エラーメッセージが表示されます。
- 1 Sales Portal Administration で、[優先事項] > [アプリケーション] に進みます。
  - 2 [アプリケーション] セクションで、許可されるファイルタイプを指定します。

## 校正レポートの有効化

- 1 Sales Portal Administration で、[優先事項] > [アプリケーション] を選択します。
- 2 [校正レポート] セクションで、[校正レポートの有効化] フィールドを [真] に設定します。

## カテゴリの追加

- 1 見積または注文にある [品目] オプションリストの隣にあるルーペアイコンからカテゴリにアクセスします。
- 2 [製品メンテナンス] > [カテゴリ] を選択します。
- 3 カテゴリをクリックします。
- 4 [作成] をクリックしてそのカテゴリの下に新しいカテゴリを追加します。
- 5 以下の情報を指定します。
  - [カテゴリ名]  
カテゴリ名を指定します。
  - [カテゴリキャプション]  
カテゴリキャプションを指定します。
  - [親カテゴリ]  
親カテゴリを指定します。
- 6 [製品の選択] をクリックします。
- 7 チェックボックスにチェックマークを付けて製品をカテゴリに追加します。

## イメージをカテゴリに追加

- 1 カテゴリに必要なイメージを次の場所に追加します。C:\inetpub\wwwroot\CPQ\Sales Portal\Client\CategoryImages
- 2 Sales Portal Administration にログインします。
- 3 [製品メンテナンス] > [カテゴリ] を選択します。
- 4 必要なカテゴリを選択します。
- 5 [イメージ] フィールドで、選択したカテゴリに表示するイメージのファイル名および拡張子を指定します。
  - 例:CoinSideCar.jpg
  - 例:CoinSideCar.png

## イメージを製品に追加

- 1 カテゴリに必要なイメージを次の場所に追加します。C:\inetpub\wwwroot\CPQ\Sales Portal\Client\ProductImages
- 2 Sales Portal Administration にログインします。
- 3 [製品メンテナンス] > [製品] を選択します。
- 4 必要な製品を選択します。
- 5 [[イメージ]] フィールドで、選択した製品に表示するイメージのファイル名および拡張子を指定します。
  - 例:CoinSideCar.jpg
  - 例:CoinSideCar.png

## 視覚的製品カタログの有効化

表示カタログまたは拡張フィルタ機能の使用を開始する前に、[優先事項] > [見積/注文メンテナンス] > [拡張フィルタ] の順に選択し、[データを最新の情報に更新] ボタンをクリックします。データが更新されたら、F5 キーを実行して、Sales Portal 画面を更新します。

- 1 Sales Portal Administration で、[優先事項] > [見積/注文管理] に進みます。
- 2 [カタログ] セクションで、[表示カタログ] フィールドを [はい] に設定します。

## リソース ID のセットアップ

- 1 Sales Portal Administration で、[システムリソース] > [リソース] を選択します。
- 2 [作成] アイコンをクリックします。
- 3 以下の情報を指定します。

[ID:]

ID を指定します。

[説明:]

説明を指定します。

[カテゴリ:]

カテゴリを指定します。

[リソースタイプ:]

リソースタイプを指定します。

[デフォルト値:]

デフォルト値を指定します。

- 4 [リソース値を開く] をクリックします。
- 5 リストからこのリソースを選択します。
- 6 [[値]] フィールドで各言語オプションの翻訳テキストを指定します。

## リソース値のセットアップ

- 1 Sales Portal Administration で、[システムリソース] > [リソース値] を指定します。
- 2 [作成] アイコンをクリックします。
- 3 以下の情報を指定します。

[ID:]

ID を指定します。

[説明:]

説明を指定します。

[カテゴリ:]

カテゴリを指定します。

[リソース ID:]

リソース ID を指定します。

[デフォルト値:]

デフォルト値を指定します。

- 4 [リソース値を開く] をクリックします。
- 5 リストからこのリソース値を選択します。
- 6 [[値]] フィールドで各言語オプションの翻訳テキストを指定します。

## 表示製品カタログのファセットの国際化

このファセットの国際化により、カタログアイテム、カテゴリ、属性の国際化リソースのセットアップを実行できます。これらのリソースのセットアップを完了して Sales Portal で関連付けられた言語に基づいたカタログの翻訳やファセットを表示できます。

## ディーラーへの言語の関連付け

- 1 Sales Portal Administration で、[ディーラー] > [検索] を選択します。
- 2 リストから必要なディーラーを選択します。
- 3 [担当] タブでリストから必要なディーラーの担当の名前を選択します。
- 4 [[言語]] フィールドで、メニューから必要な言語を選択します。

## 国際化リソース ID と製品/ディーラーの関連付け

- 1 Sales Portal Administration で、[システムリソース] > [リソース] を選択します。
- 2 リストから必要なリソースを選択します。
- 3 [リソース値を開く] をクリックします。
- 4 必要な言語のチェックボックスにチェックマークを付けます。
- 5 [[値]] フィールドで、ディーラーに表示する翻訳テキストを指定します。

## カテゴリ内移動時の項目ソート順序の指定

Admin System の項目は、[製品メンテナンス] > [製品] にある [ソート順序] を使用してソート順序に関連付けることができます。この機能により、製造業者は、表示製品カタログの閲覧時に表示する製品の順序を管理できます。例えば、10 の製品がそれぞれ、1 ~ 10 の範囲で番号が割り当てられている場合、番号 1 の製品が最初に、番号 10 の製品が最後に表示されます。拡張検索を使用して製品またはファセットの検索を絞り込む際、上記の項目ソート順序番号にある項目スコアに基づいて項目を表示します。ソート順序が同じ場合、翻訳された製品名に基づいて品目が表示されます。

## 拡張フィルタの有効化

表示カタログまたは拡張フィルタ機能の使用を開始する前に、[優先事項] > [見積/注文メンテナンス] > [拡張フィルタ] の順に選択し、[データを最新の情報に更新] ボタンをクリックします。データが更新されたら、F5 キーを実行して、Sales Portal 画面を更新します。

- 1 Sales Portal Administration で、[優先事項] > [見積/注文メンテナンス] > [拡張フィルタ] を選択します。
- 2 [拡張フィルタ] オプションを [はい] に設定して Sales Portal で [拡張フィルタ] を有効にします。

## 追加ファセットオプションの追加

- 1 Sales Portal Administration で、[製品メンテナンス] > [製品フィルタ属性] を選択します。
- 2 利用可能なリストでファセットオプションを作成または編集します。

## 製品への追加ファセットの追加

- 1 Sales Portal Administration で、[製品メンテナンス] > [製品] を選択します。
- 2 リストから必要な製品を選択します。
- 3 [製品フィルタ属性値] タブを選択します。
- 4 [[追加]] ボタンをクリックします。
- 5 メニューから既存の製品属性を選択します。
- 6 必要な [[値]] フィールドを設定します。

## サブラインの有効化

CreateSalesPortalSubLine 統合ルールテンプレートを Sales Portal に関連付けられたモデルデータベースに追加するには:

- 1 Sales Portal Administration で、[優先事項] > [見積/注文メンテナンス] を選択します。
- 2 [統合テンプレート] の隣にある [サブライン] セクションで [インストール] をクリックします。  
[前回インストール日] は、前回、統合テンプレートがこのモデルデータベースにインストールされた日付を示します。

## サブライン

サブラインは Sales Portal で CreateSalesPortalSubLine テンプレートを使用する統合ルールを介して親コンフィギュレーション品目から生成されます。CreateSalesPortalSubLine テンプレートはモデルデータベースにあります (管理 > テンプレート)。

## 多通貨の有効化

- 1 Sales Portal Administration で、[優先事項] > [価格設定] > [多通貨] を選択します。
- 2 [[多通貨]] フィールドを [はい] に設定します。





システムリソースにより、Sales Portal において言語の翻訳と通貨を管理できます。

## システムリソースについて

システムリソースを使用して、Sales Portal の海外ユーザーに向けて言語の翻訳と通貨を管理できます。以下の用語の定義を確認してください。

### [国]

国を追加する、またはデータベースにすでにある国を有効化することができます。有効化した国は、オプションとして Sales Portal の [国] オプションリストに表示されます。

### [地域]

国に関連付けられた州や都道府県などの地域を指します。有効な地域がオプションとして Sales Portal の [都道府県] オプションリストに表示されます。

### [通貨]

通貨を追加する、またはデータベースにすでにある通貨を有効化することができます。Sales Portal Admin の [アプリケーション優先事項] セクションで基本通貨を選択します。

### [ロケール]

データベースの各言語はロケールに関連付けられます。有効化されたロケールは、言語として、担当の言語オプションリストに表示されます。

### [リソース]

リソースは Sales Portal で表示されるテキストを管理します。例えば、ENT\_PROJECTS リソースは、ナビゲーションバーの [プロジェクト] セクションに表示されるテキストを管理します。

### [リソース値]

有効化した各言語に対し リソース値を使用して Sales Portal でリソースをカスタマイズできます。例えば、スペイン語を使用するユーザーは、ENT\_PROJECTS リソース値をスペインのロケールに変更して [Proyectos] と表示できます。

## 国の追加

1 [システムリソース] > [国] > [作成] を選択します。

2 以下の情報を指定します。

[名前]

名前を指定します。

[コード]

コードを指定します。

[キャプション]

キャプションを指定します。

[地域あり]

国に地域 (州、都道府県など) があるかどうかを指定します。

[有効化]

有効化または無効化を選択します。

## 地域の追加

- 1 [システムリソース] > [国] を選択します。
- 2 国を選択します。
- 3 [地域あり] チェックボックスにチェックマークを付けます。
- 4 [作成] をクリックします。
- 5 以下の情報を指定します。

[名前]

名前を指定します。

[コード]

コードを指定します。

[キャプション]

キャプションを指定します。

## 通貨の追加

- 1 [システムリソース] > [通貨] > [作成] を選択します。
- 2 以下の情報を指定します。

[名前]

名前を指定します。

[コード]

コードを指定します。

[有効化]

有効化または無効化を選択します。

## リソースの追加

- 1 [システムリソース] > [リソース] > [作成] を選択します。
- 2 以下の情報を指定します。

[ID]

ID を指定します。

[説明]

説明を指定します。

[カテゴリ]

カテゴリを指定します。

[リソースタイプ]

リソースタイプを指定します。

[デフォルト値]

デフォルト値を指定します。

## リソース値の編集

- 1 [システムリソース] > [リソース] を選択します。
- 2 レコードの隣にあるチェックボックスにチェックマークを付けます。
- 3 [リソース値を開く] をクリックします。
- 4 有効化した各ロケールに対し、[値] テキストボックスで値を指定します。これらの値は Sales Portal UI で表示されます。
- 5 以下の情報を指定します。

[名前]

名前を指定します。

[コード]

コードを指定します。

[キャプション]

キャプションを指定します。

[地域あり]

リソース値に地域 (州、都道府県など) があるかどうかを指定します。

[有効化]

有効化または無効化を選択します。



Sales Portal の優先事項とアプリケーションの設定は、Admin System アドミニストレーターが利用できません。

[優先事項] ダイアログボックスは、ディーラー管理権限を有するユーザーのみが使用することができ、Channel Sales アプリケーションをカスタマイズできます。ここで設定する優先事項がアプリケーションのデフォルトになります。

## 優先事項の変更

- 1 [設定] > [優先事項] を選択します。
- 2 カテゴリのタブを選択します。
- 3 優先事項を更新します。以下の表は、Admin System で利用可能な優先事項オプションを示しています。

以下の表は、Admin System で利用可能なアプリケーション優先事項オプションを示しています。

名前	説明
基本通貨	システムの基本通貨を設定します。
デフォルトランディングページ	デフォルトで表示されるランディングページです。
デフォルトテーマ名	使用するデフォルトテーマの名前です。
割引ロック	割引をロックします。
割引モード	割引の計算方法を設定します。
表示モード	[価格設定] タブとプリンタービューに表示する割引と利幅のデフォルトの表示を設定します。
電子メール (顧客サービス)	顧客サポート担当の電子メールです。
電子メール (テクニカルサポート)	テクニカルサポート担当の電子メールです。
代理人モードの有効化	CSR 選択により、顧客のコンフィギュレーションビューと見積または注文の内部 CSR ビュー間を切り替えることができます。
イニシャルの表示	構成前に構成品目の当初価格を設定します。

## 優先事項とアプリケーションの設定の取り扱い

名前	説明
最大レート (%)	このアプリケーションで使用可能な最大 % レートです。
多通貨	多通貨を有効または無効にします。
コメントの字数	ユーザーが 500 字を超えてコメントフィールドに入力できるかどうか決定します。
注文レベル	担当の注文機能のデフォルトレベルを管理します。
レポートのドロップダウン形式	レポート選択ドロップダウンに使用する形式を指定します。
レポート機能の有効化	レポート機能を有効化します。
検索結果の最大行数	検索時に返される行の最大数を指定します。
追加割引の表示	[価格設定] タブとプリンタービューで顧客への割引を表示します。
原価の表示	[価格設定] タブとプリンタービューで原価を表示します。
割引の表示	[価格設定] タブとプリンタービューで製造業者からの割引を表示します。
定価の表示	[価格設定] タブとプリンタービューで定価を表示します。
販売価格の表示	[価格設定] タブとプリンタービューで販売価格を表示します。
小計の表示	[価格設定] タブとプリンタービューで小計を表示します。
追加料金の表示	[価格設定] タブとプリンタービューで追加料金を表示します。
追加料金モード	追加料金の計算方法を選択し、[価格設定] タブとプリンタービューで原価を表示します。
プロジェクトとジョブの表示	プロジェクトとジョブの表示です。

以下の表は、Admin System で利用可能な連絡先優先事項オプションを示しています。

名前	説明
モバイルプロファイル名	デフォルトモバイルプロファイル名
プロファイル名	デフォルトプロファイル名

以下の表は、Admin System で利用可能な顧客ダイアログ優先事項オプションを示しています。

名前	説明
国	住所を指定するときにデフォルトで表示される国です。
デフォルト定価コード	顧客情報を指定するときに表示する最初の価格表です。

以下の表は、Admin System で利用可能なマイ品目優先事項オプションを示しています。

名前	説明
失効 (日数)	マイ品目のデフォルト失効日指定に使用されません。

以下の表は、Admin System で利用可能な注文優先事項オプションを示しています。

名前	説明
価格調整	[見積] ページで [価格調整] ボタンを有効化または無効化します。

以下の表は、Admin System で利用可能な見積/注文優先事項オプションを示しています。

名前	説明
コンフィギュレーション可能品目	アプリケーションでコンフィギュレーション可能品目の選択をサポートするかどうかを決定します。
[デフォルト] タブ	見積、注文の新規作成時に表示するデフォルトタブです。
行コメント	ショッピングカートに行コメントを表示するかどうかを指定します。
行価格詳細	ショッピングカートに行価格の詳細を表示するかどうかを指定します。
マイ品目	アプリケーション内でマイ品目の選択が利用できるかどうかを決定します。
非コンフィギュレーション品目	アプリケーション内でコンフィギュレーション不可品目の選択をサポートされるかどうかを決定します。
オプション形式	サマリー詳細に使用するフォーマットです。
価格詳細形式	価格詳細に使用するフォーマットです。
失効 (日数)	見積作成日から失効日までの日数です。
検証	選択した請求先または出荷先に変更があったか検証するコンフィギュレーション行を設定します。
直接入力品目	直接入力品目を有効化または無効化します。

以下の表は、Admin System で利用可能な消去期間優先事項オプションを示しています。

## 優先事項とアプリケーションの設定の取り扱い

名前	説明
サービス URL	コンフィギュレーションの消去に使用するコンフィギュレーションサービスの URL です。
アプリケーション名	構成の消去に使用するアプリケーションの名前です。
インスタンス名	構成の消去に使用するインスタンスの名前です。
注文消去期間	指定値 (日数) より古い注文はデータベースから消去されます。
見積消去期間	指定値 (日数) より古い見積はデータベースから消去されます。

以下の表は、Admin System で利用可能な見積/注文印刷プレビュー優先事項オプションを示しています。

名前	説明
表示 (価格設定)	価格/原価列に表示される値
表示 (イメージ)	イメージのデフォルト表示モード
ファイル拡張子	イメージの表示に使用するイメージファイルの拡張子
行ヘッダー	行品目用ヘッダーの表示/非表示
ロゴ	PDF 形式の見積に使用するロゴへの相対パス
オプションビュー	コンフィギュレーションオプションで表示される詳細のレベル
オプションスタイル	コンフィギュレーションオプションの表示に使用するスタイル
表形式スタイルのマージン	表形式にしたときのコンフィギュレーションオプションと値の間のマージン (ピクセル)
オプション区切り	段落形式の中で対になったオプション値があるとき、区切りに使用する文字
承諾サインオフ	承諾サインオフブロックのデフォルト
失効日	見積失効日のデフォルト
運賃条件	デフォルトの運賃条件
ジョブコメント	ジョブコメントのデフォルト
注文コメント	見積/注文コメントのデフォルト
支払条件	デフォルトの支払条件
プロジェクトコメント	プロジェクトコメントのデフォルト
見積名	見積名のデフォルト



名前	説明
税金、送料、手数料、その他	税金、送料、手数料、その他請求の表示または非表示
透かし	背景に透かしイメージの表示
サイズ	行項目イメージのデフォルトのサイズ

## 読み取り専用モードでの見積または注文の Document Automation の有効化

カスタマイズされたカスタムアクションにこの手順を使用します。

- 1 Sales Portal Admin で、[アプリケーションの設定] > [カスタムアクション] を選択します。
- 2 見積に FlexDocs カスタムアクションを開きます。
- 3 カスタムアクション優先事項で [読み取りのみを実行] チェックボックスにチェックマークを付けます。

## カスタムアクションの管理

あるイベントのカスタムアクション、またはユーザー定義のカスタムアクションを指定・管理するには、この作業を完了します。

注: [カスタムアクション優先事項] セクションにある一部のフィールドは、カスタムアクションの種類に基づいて読み取り専用になります。

- 1 Sales Portal Administration で、[アプリケーションの設定] > [カスタムアクション] を選択します。
- 2 必要なシステム、またはユーザー定義のカスタムアクションをグリッドから選択します。
- 3 以下の情報を指定します。

[名前]

一意の場所を持つイベントまたはカスタムアクションの名前を指定します。

[タイトルリソース ID]

Admin System のリソースとリソース値に関連付けられ、完全オーバーレイの開始優先事項が指定されると表示されます。

[場所]

カスタムアクションを実行する場所を指定します。

[ルールセットの呼び出し]

ヘッダーレベルで見積または注文に関連付けられたカスタムアクションのルールセットを指定します。

[[場所]] フィールドでの選択に基づいてこのチェックボックスを読み取り専用にすることもできます。

[完了時に最新の情報に更新]

カスタムアクションが見積などでフィールドを変更する場合、[真] に設定します。

[順序]

順序はツールバー、またはカスタムアクションの追加メニューに表示されます。

[アイコン]

アイコンに追加するイメージを指定します。

[開始優先事項]

- 新規ページ:ブラウザの設定に基づいた、新しいタブまたはウィンドウを作成します。
- ユーザーインターフェイスなし:バックグラウンドでカスタムアクションを実行します。
- 完全オーバーレイ:Sales Portal のコンフィギュレーションウィンドウに似た完全オーバーレイ。

[プロセッサタイプ]

カスタムアクションに完全に合うクラス名このフィールドは大文字・小文字を区別します。

[プロセッササブパス]

非コンパイル バイナリのある、Sales Portal カスタムアクション フォルダにあるサブディレクトリパス。  
例: .aspx ファイルといった利幅ファイル。このフィールドは UI カスタムアクションにのみ関連するものです。

## カスタムアクションからルールセットの実行

見積または注文のレポートに情報を収集する、行間の不一致を検証する、行に割引を適用する、行にエラーまたは検証のメッセージを提供する、ダウンストリームプロセスを事前に評価するためのカスタムアクションからルールセットを実行できます。

[プロセッサ情報の前]

開始優先事項を指定します。プロセッサタイプは、カスタムアクション用の完全修飾クラス名です。このクラス名は、ルールセットが呼び出される前に実行されます。このフィールドは大文字・小文字を区別します。プロセッササブパスは、UI カスタムアクションに定義できます。

[ルールセット情報]

ルールセット情報を指定します。アプリケーション、名前のスペース、ルールセットは、有効な Configurator の組合せである必要があります。アプリケーションの出力は、Sales Portal が示すアプリケーションの出力に一致する必要があります。

[プロセッサ情報の後]

開始優先事項を指定します。プロセッサタイプは、カスタムアクション用の完全修飾クラス名です。このクラス名は、ルールセットが呼び出される前に実行されます。これは大文字・小文字を区別します。プロセッササブパスは、UI カスタムアクションに定義できます。

- 1 Sales Portal Administration で、[アプリケーションの設定] > [カスタムアクション] を選択します。
- 2 必要なカスタムアクションを選択します。
- 3 以下の情報を指定します。

**[名前]**

場所について、一意のイベントまたはカスタムアクションの名前を指定します。

**[タイトルリソース ID]**

タイトルリソース ID を指定します。タイトルリソース ID は、Admin System のリソースとリソース値に関連付けられ、完全オーバーレイの開始優先事項が指定されると、表示されます。

**[場所]**

カスタムアクションを実行する場所を指定します。

**[[ルールセットの呼び出し] チェックボックス]**

選択すると、ヘッダーレベルで見積または注文に関連付けられたカスタムアクションのルールセットを追加します。[場所] フィールドでの選択に基づいてこのチェックボックスを読み取り専用にすることもできます。

**[[完了時に最新の情報に更新] チェックボックス]**

カスタムアクションが見積などでフィールドを変更する場合、[真] に設定します。

**[順序]**

ツールバーまたは追加メニューでカスタムアクションを表示する順序を指定します。

**[アイコン]**

16 X 16 ピクセルの静止画像アイコンを指定します。

**[タイトルリソース ID]**

このオプションは、[ルールセット情報] セクションで [開始優先事項] フィールドが [完全オーバーレイ] に設定されている場合のみ利用可能です。

**[開始優先事項]**

- 新規ページ: ブラウザの設定に基づいた、新しいタブまたはウィンドウを作成します。
- ユーザーインターフェイスなし: バックグラウンドでカスタムアクションを実行します。
- 完全オーバーレイ: Sales Portal のコンフィギュレーションウィンドウに似た完全オーバーレイ。

**[プロセッサタイプ]**

カスタムアクションに完全に合うクラス名このフィールドは大文字・小文字を区別します。

**[プロセッササブパス]**

非コンパイル バイナリのある、Sales Portal カスタムアクション フォルダにあるサブディレクトリパス。例: .aspx ファイルといった利幅ファイル。このフィールドは UI カスタムアクションにのみ関連するものです。

## GetProductsEvent カスタムアクション

GetProductsEvent カスタムアクションは、品目選択メニューを使用するときはいつでも呼び出されます。このカスタムアクションは、[品目] タブで開いている見積または注文にあります。このカスタムアクションは、定義した論理に基づいた利用可能な製品を絞り込むコア実装に優先します。

## GetProductsEvent カスタムアクションの作成

- 1 Sales Portal Admin で、[アプリケーションの設定] > [カスタムアクション] を選択します。
- 2 [[場所]] フィールドで、GetProductsEvent カスタムアクションを選択します。
- 3 以下の情報を指定します。

[名前]

名前を指定します。例: GetProductsEvent

[リソース ID]

リソース ID を指定します。例: MyResource

[場所]

場所を指定します。例: GetProductsEvent

[完了時に最新の情報に更新]

例: 確認済み

[順序]

順序を指定します。例: 40

[アイコン]

例: pic.jpg

[タイトルリソース ID]

タイトルリソース ID を指定します。例: resourceID

[開始優先事項]

開始優先事項を指定します。例: ユーザーインターフェイスなし

[プロセッサタイプ]

プロセッサタイプを指定します。

例: SampleCustomActions.GetProductsForCategoryCustomAction.SampleCustomActions

## ION 用コンフィギュレーション

BOD を生成して、Infor ION がアクセスできるメッセージアウトボックス内にその BOD を置くよう、Sales Portal Administration を構成します。Infor ION Sales Portal と ION の間のコンフィギュレーションの実行に関する詳細については、Infor ION 用 Infor Configure Price Quote Sales Portal コンフィギュレーションガイドを参照してください。

### ION パラメータ

Sales Portal 内の ION パラメータは、BOD を正常に処理するために、[アプリケーションの設定] > [ION パラメータ] で配置される新しいモジュールタブ内で構成することができます。ご使用のコンフィギュレーションを ION パラメータ設定に保存するには、[保存] をクリックします。Sales Portal 内で設定することができる ION パラメータは、次のとおりです。

- xmins

- xsi
- xsd
- schemaLocation
- versionID
- releaseID
- BODType
- TenantID
- LocationID
- AccountingEntityID
- FromLogicID
- ComponentID
- ToLogicalID

## BOD サービスダッシュボード

BOD サービスダッシュボードは、Sales Portal 内で [アプリケーションの設定] > [BOD サービスダッシュボード] で表示され、個別のグリッドからジョブを呼び出すのに使用します。BOD ダッシュボードは、ハングファイアダッシュボードを使用して、シームレスなユーザーインターフェースとユーザーエクスペリエンスを作成します。BOD を公開する前に、プロセス BOD 機能をオンにする必要があります。プロセス BOD スイッチは、Sales Portal 内にあります ([アプリケーションの設定] > [BOD サービスダッシュボード] > [サービス情報] > [プロセス BOD])。プロセス BOD をオフにすると、状況フィールドは [非アクティブ] に設定されます。プロセス BOD をオンにすると、状況フィールドは [アクティブ] に設定されます。サービスダッシュボード内のジョブは、下記の状況を含みます。

- 成功  
BOD はマッピングに成功しました。
- 待機状態  
BOD はマッピングを待っているところです。
- 失敗  
BOD はマッピングができませんでした。

## アプリケーションの設定について

アプリケーションの設定は、ディーラー管理権限を有するユーザーが使用でき、アプリケーションで支払いおよび出荷に関連した条件および方式を確認できます。

アプリケーションの設定は発注またはデフォルトになっています。発注アプリケーションの設定は、[発注デフォルト] タブで表示されます。発注条件は、製造業者とディーラーの間の条件です。デフォルトのアプリケーション設定は、見積の [ヘッダー] タブで表示されます。これらの条件は、ディーラーとエンドユーザーの間の条件を表しています。デフォルトのアプリケーション設定は、Sales Portal クライアントアプリケーションにおける事前定義でもあります。デフォルトの値は無効にできますが、削除はできません。

以下の表は、Admin System で利用可能なアプリケーション設定を示しています。

## 優先事項とアプリケーションの設定の取り扱い

---

以下の表は、Admin System で利用可能な支払方法オプションを示しています。

名前	説明
アカウント上	金額は顧客アカウントに請求されます。

以下の表は、Admin System で利用可能な支払条件オプションを示しています。

名前	説明
即時	請求書の受領時に支払い
支払期限 10 日以内	請求書の受領後 10 日以内に支払い
支払期限 15 日以内	請求書の受領後 15 日以内に支払い
支払期限 30 日以内	請求書の受領後 30 日以内に支払い
支払期限 45 日以内	請求書の受領後 45 日以内に支払い

以下の表は、Admin System で利用可能な出荷方式オプションを示しています。

名前	説明
優先事項なし	システムはこれを通常の注文として扱います。
出荷完了	この注文は一括配送します。品目が揃わないと発送までに時間のかかる恐れがあります。
受注残なし	この注文は在庫を押さえ次第発送します。一旦出るとクローズとなり、受注残はありません。
分納	この注文は分納可です。品目は入り次第、順次発送されます。送料の増加が見込まれます。

以下の表は、Admin System で利用可能な運賃条件優先事項オプションを示しています。

名前	説明
原価と運賃	荷送人が輸入代金の一部を負担、荷受人が残りを支払う
着払	着払 – 荷受人が料金をすべて支払う
関税支払で納入	関税支払、付加価値税未払で納入
倉庫ドック	倉庫ドック運賃優先事項
FOB (本船渡し)	荷送人が輸出代金の一部を負担、荷受人が残りを支払う
前払	荷送人が出荷料金をすべて支払う
送料、関税、租税	荷送人が送料、関税、租税を支払う

以下の表は、Admin System で利用可能な配送業者オプションを示しています。

名前	説明
ABF Freight System	優先の配送業者設定
Pilot Freight Services	優先の配送業者設定
Towne Air Freight	優先の配送業者設定
TST Overland Express	優先の配送業者設定
United Parcel Service	優先の配送業者設定
YRC Worldwide	優先の配送業者設定

以下の表は、Admin System で利用可能な見積状況オプションを示しています。

名前	説明
破棄	破棄済み見積は読み取り専用になります。
クローズ	クローズド見積は読み取り専用になります。
失効	見積は失効日を過ぎると失効として表示されます。
損失	損失見積は読み取り専用になります。
開く	新規見積もりがデフォルトの設定で開きます。
注文済	注文に変換されると見積は注文済になります。

## アプリケーションの設定の追加

- 1 [アプリケーションの設定] を選択し、カテゴリを選択します。
- 2 [作成] をクリックします。
- 3 以下の情報を指定します。

### [名前]

一意の名前を指定します。

### [レポートタイプ]

利用可能な場合、レポートタイプを指定します。

### [タイプ]

アプリケーションの設定のタイプを指定します。

### [キャプション]

アプリケーションの設定の作成されたリソースを指定します。Sales Portal で表示されるアプリケーションの設定名はリソースの値とユーザーの言語設定に基づきます。

### [コード]

利用可能な場合、配送業者のコードを指定します。この値は、Sales Portal データベースの ShippingCarriers の表で ShortName として保存されます。

[URL]

利用可能な場合、アプリケーションの設定の URL を指定します。

[レイアウト]

利用可能な場合、レイアウトを指定します。

[ソート順序]

利用可能な場合、番号を指定します。1 の値が最初に表示されます。

[有効化]

クライアントアプリケーションで表示するアプリケーションの設定のチェックボックスにチェックマークを付けます。

## レポートの追加

Sales Portal ナビゲーションバーでレポートを表示するには、レポートの追加前に、優先事項のアプリケーションセクションからレポートを有効にします。

1 [アプリケーションの設定] > [レポート] > [作成] を選択します。

2 以下の情報を指定します。

[レポートタイプ]

レポートタイプを指定します。[Url] フィールドで入力した Web サイトを開くには [[リンク]] レポートを使用します。

[URL]

リンクレポートの完全 URL を指定します。CPQ インスタンスの Sales Portal/クライアント/レポート フォルダにあるレポートまたは PDF のファイル名

[キャプション]

キャプションを指定します。

[有効化]

クライアントアプリケーションで表示するレポートのチェックボックスにチェックマークを付けます。



このセクションでは、システムメッセージの作成と管理について説明します。システムメッセージを使用して、Sales Portal クライアントアプリケーション経由で、特定のユーザーにメッセージを送信できます。

## メッセージの作成

メッセージを使用して、特定の Sales Portal ユーザーに情報を送信できます。Admin System に登録されているすべてのディーラーまたは特定のディーラーにメッセージを送信できます。

- 1 [メッセージ] > [新規] を選択します。
- 2 以下の情報を指定します。

### [アプリケーション]

Sales Portal アプリケーションを選択します。

### [発効日/失効日]

ユーザーにメッセージを表示する日付に対応する、発効日および失効日を設定します。

### [名前]

メッセージに、わかりやすい名前を付けます。

### [レベル]

メッセージに関連付けるレベルアイコンを指定します。レベルによりメッセージの受信日に変更されることはありません。レベルのアイコンは、メッセージの重要性を示す視覚インジケータです。

### [メッセージ]

Sales Portal で表示するメッセージを指定します。

### [顧客名]

Sales Portal でメッセージを確認できるユーザーを指定します。

### [アクション]

オプションで、Web サイトの URL またはメッセージに追加する PDF ファイルを指定します。Sales Portal クライアントアプリケーションでメッセージの [追加情報] ボタンからアクションを確認できます。URL は有効になっており、インターネットでアクセスする必要があります。

### [公開済]

メッセージを公開するには、このチェックボックスにチェックマークを付けます。公開されていないメッセージは Sales Portal で表示されません。

## メッセージの表示

公開されたメッセージは、Sales Portal クライアントアプリケーションで指定されたユーザーに表示されます。公開されたメッセージは、ホームページのシステムメッセージセクションおよび Sales Portal 検索グリッドで確認できます。